

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 604 号	氏名	中田 るか
学位審査委員	主査	永安 武	
	副査	前村 浩二	
	副査	高村 昇	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、筋特異的受容体チロシンキナーゼ (MuSK) 抗体陽性の重症筋無力症 (MG) 患者における胸腺組織異常と自己免疫疾患の合併について、アセチルコリン受容体 (AChR) 抗体陽性 MG と比較検討し、その臨床的意義を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 本研究では、MuSK 抗体陽性 MG と AChR 抗体陽性 MG 患者各 83 名を対象に、retrospective にその臨床的特徴、合併症、血清中抗 titin 抗体価について比較検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、MuSK 抗体陽性 MG では胸腺異常や自己免疫疾患の合併が少なく、胸腺組織との関連が少ないことが示唆された。このことより MuSK 抗体陽性 MG 患者における胸腺摘除に対しては慎重になるべき可能性が示唆された。</p>			
<p>以上のように本論文は、重症筋無力症治療の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			